

# 高知の明日を切り拓く教育の実現に向けて!

## 第1章 高知県の教育を取り巻く現状

### 1 高知の教育を取り巻く諸課題

こんなに厳しい

- ◇ 少子高齢化や若者等の県外流出の進行
  - ・全国に約10年先行した高齢化と少子化の進行
  - ・年少人口(0~14歳)は、今後30年でほぼ半減する見通し
  - ・20年度 新規高卒者の就職者のうち半数以上が県外就職

- ◇ 全国に比べ厳しい高知の家庭と暮らし
  - ・17年度 県民所得は、全国平均の約7割(全国第46位)
  - ・17年度 生活保護被保護率は、全国平均の約1.8倍(全国第3位)
  - ・17年度 母子世帯比率は、全国平均の約1.3倍(全国第5位)
 ⇒ 経済的に厳しい状況にある家庭が多い中、家庭の教育力の向上が、

- ◇ 県民の教育に対する期待レベルの状況
  - ・(20年度県民世論調査結果)
  - 高知県では、「基本的な生活習慣が身につくようにする」という項目が、中学校、高校でも高くなっています。
    - ⇒ 教育に関する県民の期待をどのように高めていくかが大きな課題です。
- ◇ 高等教育機関や社会教育施設の現状
  - ・全国に比べ低い地元大学への進学
    - ⇒ 高等教育機関の地域貢献の在り方が課題です。
  - ・生涯学習を担う施設や内容が不十分
    - ⇒ 学習の支援や社会全体の教育力の向上のためには、生涯学習を推進する拠点

### 2 子どもの教育を取り巻く現状

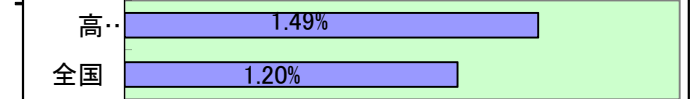
- ◇ 課題の大きな学力・学習状況
  - ・活用力に課題のある小学校
    - 本県の小学生は、ほぼ全国水準
    - ⇒ 知識や技能の活用力に課題が見られます。
  - ・全国水準を大きく下回る学力の中学校
    - 本県の中学生は、全国水準を大きく下回り全国第46位
    - ⇒ 基礎・基本が身につけていない子どもたちがたくさんいます。
  - ・進路実現のために十分でない高校生の学力

- ◇ 全国最低水準にある児童生徒の体力・運動能力
  - ・平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
  - 本県の児童・生徒の体力は、小学生は男女とも全国第47位
  - 中学生は、男子第45位、女子第46位

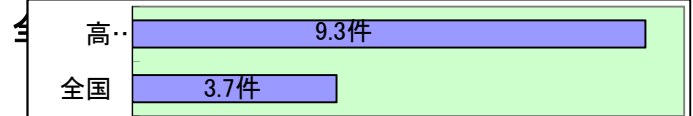
### ◇ 全国の中でも厳しい状況の生徒指導上の諸課題

#### ・不登校の出現率(国・公・私立小中学校)

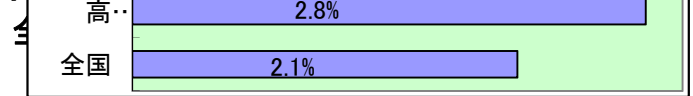
全国トップ2位(10年度)



#### ・暴力行為の発生件(国・公・私立小中高千人あたり)



#### ・高校進路希望率



### 3 教育に生かせる高知県の強み

そんな中でも

- ◇ 恵まれた自然環境とその特性を生かした産業
  - ・森林面積の割合 83.3%(全国第1位)
  - ・風光明媚な自然・景観
    - 四万十川、桂浜、四国カルストなど
  - ・温暖な気候と豊かな農水産業
    - ・年間降水量 3,213mm(全国第1位)
    - ・年間日照時間 2,034時間(全国第1位)
    - ・主な全国第1位の農産物や魚ナス、文旦、ソウダガツオなど
  - ・学校での自然環境等の取組
    - 野市小学校、四万十高校、海洋高校など

- ◇ 進取の精神に富む偉大な先人を輩出した高知県
  - <国際人>
    - 中浜 万次郎
  - <志士・政治家>
    - 坂本 龍馬
    - 板垣 退助
  - <実業家>
    - 岩崎 弥太郎 など
  - ⇒ 先人の活躍は、郷土に誇りを持

- ◇ 発揮される豊かな感性
  - <小説家>
    - 宮尾 登美子、坂東 真砂子
    - 山本 一力、安岡 章太郎
    - 大原 富枝、倉橋 由美子
  - <漫画家>
    - 横山 隆一、やなせ たかし など
  - ⇒ 著名な作家や漫画家を数多く輩出していることは、高知県民が

- ◇ 豊かな情操を育む読書
    - ・読書が好きな児童生徒の割合
- 
- |    |       |
|----|-------|
| 高知 | 74.2% |
| 全国 | 72.3% |
- 小学校
- |    |       |
|----|-------|
| 高知 | 73.5% |
| 全国 | 69.0% |
- 中学校

### 4 土佐の教育改革の検証と総括

「開かれた学校づくり」や「授業評価システム」など土佐の教育改革で築いてきた取組や「早ね 早おき 朝ごはん」などの県民運動は、これからも各地域・学校において創意工夫を重ねながら継続

## 第2章 現状のさらなる分析と考察

### 1 課題解決に向けた要因分析を繰り返し、深く追求していたか

- ・課題を抜本的に解決していくためには、その課題や問題点の要因分析を繰り返し、深く追究するとともに、内部努力を磨く取組を進める必要があります。
- ・現在の学力や生徒指導上の諸課題は、こうした課題解決に向けた追求が不十分であったことに大きな原因があると

### 2 意識の共有は高められていたか

- ・第2期土佐の教育改革では、基礎学力の定着の度合いやいじめ・不登校の減少など、数値目標も掲げ取り組むべき内容をアクションプログラムとして策定していました。
- ・しかしながら、結果としては、県教育委員会、市町村教育委員会、学校現場の間の距離感の克服やベクトル合わせ、意識の共有することができていませんでした。

### 3 教育行政が組織的・継続的に取り組まれていたか

- ・目標や計画ができて、実現するための県教育委員会の指導・助言の徹底や進行管理が十分にできておらず、学校現場においてもPDCAサイクルの実践や成果を積み上げていく組織的・継続的な取組に結びつきませんでした。
- ・年度の重点や目標を明確化した指導の指針は、多くの都道府県で作成され、組織的かつ継続的に取り組まれてい

### 4 「強み」を十分に生かす取組が強化されていたか

- ・一部では「強み」を生かした取組も見られましたが、全体的に見ると、まだ十分に教育に生かされていません。この「強み」を伸ばすことが、高知県の教育の発展にも、また、全国を先導する取組にもつながります。
- ・高知県の学力の課題の一つである「活用力」、体力や学力の支えとなる「興味・意欲・関心」、心の教育の柱となる豊かな

### 5 教育的な風土づくりが具体的に進められていたか

- ・県民世論調査の結果から、県民の教育に対する期待レベルが徳島県と比べて低い状況が明らかになりました。
- ・保護者や地域住民のPTA活動への参加や学校運営への参画が進み、教育にかかわる人の裾野は広がりましたが、その活動を子どもたちの教育の向上にしっかりと結びつけていくことが課題です。
- ・高知県の将来を切り拓くためにも、大人から子どもまで夢や希望の実現に向け、高い志と目標を掲げ、一生懸命努力

## 第3章 今後の教育振興の方向性

### 1 基本的な教育理念～目指すべき人間像～

- (1) 郷土を愛し世界にはばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子どもたちの育成
- (2) 学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力をもった人間の育成

### 2 現状の分析を踏まえた今後の方向性

- (1) 将来の基礎となる力を確実に育成する教育の実現
- (2) 「強み」をさらに生かし、伸ばす教育の実現
- (3) 教育による社会変革の実現

### 3 教育委員会・学校・家庭・地域の果たすべき責任と役割

- (1) 教育委員会は、教育水準を保障する責任者です
- (2) 学校は教育の場であり、教員は児童生徒の教育者です
- (3) 家庭は、子どもの教育の最終的な責任者です
- (4) 地域は、教育的風土づくりの出発点です

## 第4章 3つの視点に基づく10の基本方針

### <視点1 明る未来を担う人づくり>

#### (1) 心身ともに健やかで「夢」と「希望」にあふれた土佐人を育てよう

- ・「人格の完成」を目指すためには、知力・体力・心をバランスよく伸ばしていくことが重要です。
- ・自己肯定感や自尊感情、他人を思いやる気持ちや規範意識、頑張ろうとする気力などを幼少期からしっかりと育む必要があります。
- ・身近な環境問題等を通じて、国際的な視野を広げ、社会の一員として適切な判断と行動ができる、責任ある人間

#### (2) 生涯を通し学ぶ喜びに満ちた教育的な風土づくりを進めよう

- ・高知県の教育を大きな広がりを持って振興するためには、個人の要望と社会の要請を踏まえ、生涯を通して学びを継続し、その成果を発揮しながら、社会で力強く生きていくことが大切です。
- ・すべての県民が、ライフステージに応じて多様な場所や方法で学習し、その成果を活かすことができる生涯

#### (3) 高知県の強みを生かし、伸ばす取組を進めよう

- ・子ども一人ひとりに個性があるように、高知県の教育の個性を伸ばし、得意分野を磨くことも必要です。

### <視点2 家庭や地域の教育力の向上>

#### (4) 教育の原点である家庭の教育力を高めよう

- ・教育の原点は家庭にあり、基本的な生活習慣、豊かな感性や情操などの基礎は家庭で培われます。
- ・家庭は、愛情を持って子どもと向き合い、あいさつや規範意識など人としての基礎・基本をしっかりと育成し、

#### (5) 乳幼児教育や親育ち支援を重視し、確かな「子育て力」を育成しよう

- ・大人が、子どもに確かな愛情を乳幼児期から注ぎ、しっかりと子育てをすることが教育の出発点です。
- ・子どもとして最も初期の教育や、その時期の親の学習が何よりも大切です。

#### (6) 放課後や週末などに積極的に学校にかかわり、地域全体で教育を支えよう

- ・子どもたちは、地域の中で学び、遊び、地域の人と触れ合う中で、社会性を身につけ健全に育ちます。
- ・地域の人が様々な形で学校運営にかかわったり、学校が地域の学習や文化の拠点として貢献することが、地域に信頼される学校づくりや地域の活性化にもつながります。

### <視点3 教育の質の向上と教育環境の整備>

#### (7) 学校で将来の基礎となる力を確実に身につけさせよう

- ・生涯を通じて自ら学んだり、学び直しをするためには、基礎・基本となる力を確実に身につけておく必要があります。
- ・子どもたちの発達段階に応じて、修得すべき基礎・基本を確実に身につけさせ、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現する力を育むとともに、学習に取り組む意欲を養います。

#### (8) 教職員として日々研さんし、互いに高め合う取組を進めよう

- ・教職員は、子どもたちの成長に日々かかわり、人格形成に大きな影響を与えるなど、その資質・指導力の向上は極めて重要な課題です。
- ・子どもたちの心に火をともし、学校で日々成長し、互いに高め合うことができる教職員の育成が大切です。

#### (9) 意欲と活力に満ちた組織的な学校づくりを進めよう

- ・学校は、子どもたちと教職員の確かな成長を支える組織として、明確な目標や方針をもって運営していくことが必要です。
- ・このため、教職員の意欲ややりがいを高め、学校全体としての意識や取組を共有化できるマネジメント力に富んだ管理職を育成し、PDCAサイクルやOJTが日常的に実践される学校づくりを進めます。

#### (10) 教育の基盤となる教育機関を整備・充実させよう

- ・これからの時代にふさわしい教育活動を実施するため、パソコンや電子黒板などICT環境整備は極めて重要です。
- ・幼稚園から大学までの学校教育施設、図書館や博物館などの社会教育施設、設備の充実を図ります。
- ・地域の実態に応じた教育行政を推進するため、学校・教育委員会などの教育機関の政策企画能力や実行力



## 第5章 基本方針に基づく今後5年間の具体的な施策

### (1) 心身ともに健やかで「夢」と「希望」にあふれた

#### ①心の教育

- 「夢」や「希望」を実現するための発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 道徳教育や体験活動等の充実と推進
- 学級を良くするためのQ-Uアンケートの普及・定着
- 小中連携による不登校・いじめ等対策の推進

#### ②健康と体育

- こうちの子ども体カアップアクションプランの推進
- スポーツ選手(トップアスリート)「夢先生」派遣事業
- 児童生徒の健康のための学校保健・健康教育等の普及・促進
- 学校給食における地産地消をすすめる産業振興食育推進事業

### (3) 高知県の強みを生かし、伸ばす取組を進めよう

- 夢を育み感性を磨く読書活動の積極的な推進
- 特色ある高等学校づくりの推進(21ハイスクールプラン推進事業)
- 日本有数の海技士養成高校を目指す高知海洋高校の活性化と土佐海援丸の新船建造
- 高知県の特性を生かした教育内容の充実

### (5) 乳幼児教育や親育ち支援を重視し、

- 行政窓口の一本化の推奨
- より質の高い保育・教育の推進
- 子どもの健やかな育ちを支え、保護者の悩みを軽減するための子育て・親育ち支援の推進(再掲)
- 子育て環境を充実するための認定こども園の推進

### (7) 学校で将来の基礎となる力を確実に身につけさせよう

#### ①義務教育

- 学力向上のための学校改善プランに基づく支援・指導の強化
- 算数・数学学力定着事業(単元テスト)
- 高知市が行う学力向上の取組に対する重点支援
- 先導的な役割を担う学校への支援

#### ②高校教育

- 学力向上に向けた4-Daanプロジェクト(4段階にわたる学力向上のための取組、“Do aggressive action now”Project)の推進
- 入学者選抜制度の改正と通学区域の見直し
- 希望の進路実現に向けた高校生就職支援

#### ③特別支援教育

- 教育内容を高める発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業
- 専門性のある教員の育成
- 特別支援学校教員の免許保有率の向上
- 特別支援教育地域コーディネーターの配置と活用

#### ④高等教育(大学等)

- 大学入試における県内枠の設定や教育課題解決に向けての貢献
- 県内すべての大学における効果的な教員免許更新制の実施
- 教職員の育成に関する大学との連携の推進
- 生徒・学生への教育効果を高める高大連携の推進

#### ⑤教育の連続性の確保

- 小中連携による不登校・いじめ等対策の推進(再掲)
- 生徒・学生への教育効果を高める高大連携の推進
- 「夢」や「希望」を実現するための発達段階に応じたキャリア教育



### (2) 生涯を通し学ぶ喜びに満ちた

- 県立図書館と市町村立図書館のネットワーク化の推進
- 若者サポートステーションによる若者の学び直しに向けた支援
- 公民館等を活用した地域の学び場づくり
- 全国生涯学習フェスティバルの開催等を契機とした地域の教育力の向上
- 総合型地域スポーツクラブの育成
- 地域の核となる人材の育成

### (4) 教育の原点である家庭の教育力を高めよう

- 子どもの学びを保障する教育費負担等の軽減
- 子どもの健やかな育ちを支え、保護者の悩みを軽減するための子育て・親育ち支援の推進
- 子育て家庭へのきめ細かな支援の充実(家庭教育支援基盤形成事業)
- 子どもの生活リズム向上推進事業

### (6) 放課後や週末などに積極的に学校にかかわり、

- 健やかで豊かな放課後を保障する放課後子どもプランの推進
- 地域社会全体で学校を支える学校支援地域本部の設置
- 地域ぐるみの学校安全体制の整備
- 防災教育の推進

### (8) 教職員として日々研さんし、互いに高め合う取組を進めよう

#### ①教職員の採用・研修等

- 採用説明会・勉強会の実施
- 障害者雇用の促進
- 教員の自主的な活動を推進する教科研究センター(仮称)の設置
- 教職員の育成と学校の組織的な運営のための育成型人事評価制度等の改善

#### ②指導力の育成と表彰

- 教科指導の中核となるミドルリーダーの育成
- 実践的なプロジェクト研修やICT研修の実施
- 児童生徒理解に関する研修の充実
- 各学校の教育課題を踏まえた校内研修の充実
- 優れた取組や実践を行った教職員の表彰とその取組の周知・啓発

### (9) 意欲と活力に満ちた組織的な学校づくりを進めよう

- 学校組織活性化実践事業
- 組織的・効果的な学校運営を目指した新たな職のモデル的導入
- 教職員の育成と学校の組織的な運営のための育成型人事評価制度等の改善(再掲)
- 学校評価の推進

### (10) 教育の基盤となる教育機関を整備・充実させよう

#### ①学校教育施設・設備の整備

- 特色のある学校づくり等を進める県立高等学校再編計画の策定・実行
- 安全・安心のための県内公立学校施設の耐震化の促進
- 統合推進加配の実施
- ICT環境の整備と情報教育政策の確立

#### ②社会教育施設・設備の整備と教育委員会の体制強化

- 県立図書館等の生涯学習機関の充実
- 市町村教育委員会の広域的な取組への支援
- 目指せ！教育先進県研究事業
- 教育センターの機能強化

## 第6章 計画の着実な推進と進捗管理

### 1 高知県教育振興基本計画推進会議の設置

- ・ 教育振興基本計画を効果的かつ着実に実施するためには、定期的な意識合わせとともに施策点検とその結果のフィードバックが不可欠です。
- ・ 「高知県教育振興基本計画推進会議」を設置し、計画の総合的な推進と定期的な進捗状況

### 2 市町村教育委員会と連携した教育版「地域アクションプラン」の策定と実行

- ・ 計画を効果的に推進するためには、各地域の現状や課題に応じた目標、具体的な施策が必要です。
- ・ 県内の各ブロック単位で、教育版「地域アクションプラン」を策定し、市町村の主体的な取組

### 3 教育振興に向けた県民運動の推進～課題の共有と意欲的な機運の醸成～

- ・ 教育版「対話と実行」座談会などの開催を通じた県民との直接対話やホームページ、広報紙等を活用した県民の幅広い意見の収集・反映に努めます。

### 4 国と県の役割分担を踏まえた相互の連携・協力

- ・ 国の予算や施策を効果的に活用し、高知県の実情に応じた予算や施策が国で実施されるよう高知県東京事務所とも連携しながら、積極的な情報提供や具体的な提案を行っていきます。

### 5 実施状況に応じた不断の検証と改善

#### (1) 教育委員会評価を通じた毎年度の検証と改善

毎年実施する教育委員会の点検・評価を通じて、取組状況について説明責任を果たしていくとともに、実施状況に応じて不断の検証と改善を行います。

#### (2) 「学ぶ力を育み 心に寄りそう 緊急プラン」の目標達成の検証と合わせた3年目の中間評価の実施

緊急プランの最終年度が、この計画の3年目に当たっていることから、緊急プランの

